

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

六字城

ROKUJIJO

2019/11/1

No.660

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝

深まりゆく秋に思う

天満別院輪番 武宮信勝

天満別院墓地にて（撮影者 矢裂隆司）



台風19号は、関東・東北広範囲にかけ大きな被害をもたらしました。命を亡くされた方のご家族、家屋を失い避難生活を余儀なくされている方々に対し、哀悼・お見舞い申し上げます。さて、ご門徒をはじめ、たくさんのご法中参勤のもと、如来浄土のお莊嚴をいただき、別院報恩講が円成いたしました。あらためて、ここに謹んで御礼申し上げます。

職員一同、明年の報恩講に向けて、回心懺悔して新たな気持ちで、教学・教化事業の推進に精進させていただきます。ご本山に先がけて、教区内637ヶ寺院で「報恩講」がお勤めされると聞いています。大阪中「如来大悲の恩徳はく」が響き渡ることであります。

晩秋とともに、朝夕めっきり冷え込んでまいりました。先日別院墓地で、一匹の赤トンボに出遇いました。ふと、思い起こしたなじみ深い童謡の一つに「赤トンボ」があります。大正10年、詩人三木露風によって発表されました。

夕焼け小焼けの、赤とんぼ 追われて見たのは、いつの日か山の畑の、桑の実を小かごに摘んだは、まぼろしか十五で姐やは嫁に行き お里の便りも、絶えてた夕焼け小焼けの、赤とんぼ 止まっているよ、竿の先

三木露風が、函館の修道院で講師をしていた頃、子供の時見た赤トンボの風景を想い出し描いた作詞。父の道楽が縁で、7歳にして生き別れた母への慕情と、祖父の家に引き取られ、お手伝いの姐やに養育された慕情を詠んだ詩とされている。ちなみに「追われて」とは「おんぶされて」の意味です。露風72歳の時、母が91歳で命終。駆けつけた露風は、夜通し枕を並べて一夜を明し、別れ離れになってもずっと生母を求め続けている篤い情念が、ひしひしと伝わってきます。

深まりゆく秋の夜長、この詩を口ずさみつつ、私にとって大切な人との別れを偲ぶことがあってもいいのではないのでしょうか。

法要・行事予定

11月

4日	達如上人御祥月御命日	(午前8時)
10日	同朋の会	(午後2時)
	稲垣洋信師(第7組 長教寺住職)	
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(午後2時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(午前8時)
16日	天満別院合唱団『みのり』	(午後2時)
	村上奈津子師(第13組 超願寺住職)	
23日	ご本山 報恩講 団体参拝	(午前8時出発)
24日	顕如上人御祥月御命日	(午前8時)
	正信偈書写の会	(午前10時)
	定例法話	(午後1時30分)
	澤田見師(第12組 清澤寺住職)	
27日	宗祖聖人御正忌御遠夜	(午後2時)
28日	宗祖聖人御正忌晨朝	(午前8時)
	宗祖聖人御正忌日中	(午前10時)

12月

12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(午後2時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(午前8時)
21日	天満別院合唱団『みのり』	(午後2時)
	村上奈津子師(第13組 超願寺住職)	
24日	正信偈書写の会	(午前10時)
	定例法話	(午後1時30分)
	間口美代子師(第12組 方廣寺)	
27日	宗祖聖人御命日御遠夜	(午後2時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中	(午前8時)

◆今年も親鸞さまに
遇いに行きましょう！

天満別院門徒会では、左記の日程で「御正忌報恩講」への団体参拝を予定しています。今年度は日中法要後に、岡崎別院、山科別院へ参拝します。詳細は先月号に同封のご案内をご確認ください。また天満別院HPでもご確認いただけます。皆様ぜひご参加下さい。

記

日程 11月23日(土)午前8時出発

集合 天満別院本堂

参加費 お一人 5000円

※ お申し込みの期日は15日までです。
お電話でもお受けいたしております。

今月の伝道掲示板

ゆるしとは

“ 相手を無罪放免

にする手段 ”

ではなく自分を自

由にする手段です

—ダライ・ラマ 14世

編集後記

実りの秋も11月になると、冬への1歩手前です。
10月下旬ですと、樹々が紅葉に赤く色づいているイメージがありますが、別院の境内にある樹々にまだ秋らしさは感じられません。ただ日毎に増す寒さは感じています。
季節の変わり目は体調が崩れやすく、風邪やインフルエンザも流行しやすいです。「体が資本」という言葉にもあるように、早めの予防接種も考えなければと思う今日この頃です。(H)

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

株式会社 太田石材店

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL (06) 6930-5075 FAX (06) 6930-5078

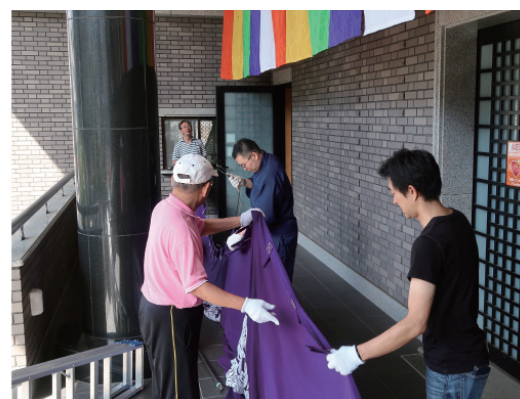
工場
〒536-0017 大阪市城東区新喜多東1丁目8番2号
TEL (06) 6968-8111 FAX (06) 6968-8805

<http://www.otasekizaiten.co.jp/>

（報恩講特集） 身を粉にしても～、骨を砕きても～。



写真展～昨年度報恩講の写真等々～



報恩講準備～紫幕取り付けの様子～



報恩講準備～ピカピカに磨けたかな？～

生活のなかでお念仏申すのではなく、お念仏の中で生活がいとなまれる（和田稠）と言われています。

私共、真宗門徒にとって人々が寄り合い、お斎をいただくなど、共にふれ合いつつ、聞法する場として、毎年欠かさず報恩講が厳修されてきました。

今年も「一人の念仏者の誕生」を願いつつ三ヶ日間に亘り、参詣の皆さんと共にとおとめさせていただきました。その全容の一部を写真を通してご報告いたします。

年に一度の大切な御法縁です。一人でも多くの方にご参詣くださるよう、願わずにはおられません。



参詣のご門徒



御伝鈔練り込み～少し緊張気味の青年部会～



御伝鈔拝読～宗祖の御一生が書かれた～



本山及び難波別院の物販書籍



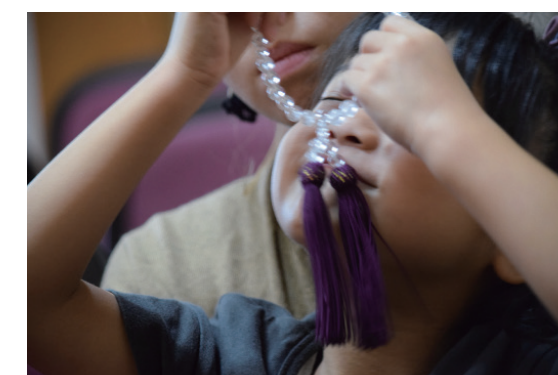
御法話～「凡夫の救い」とは 里雄康意師～



合唱団「みのり」
～ドキドキのコーラスデビュー～



教区内輪番（前輪番）御拝礼



参詣の子ども～お念珠の中に何か見えるかな？



雅楽演奏～御出仕御退出を彩る～



本山定衆による登壇～式文・嘆読文 拝読～



結願日中（御満座）の様子



報徳会～武宮輪番登壇～